

まちづくり交付金 事後評価シート  
浜田駅周辺地区

平成21年12月

島根県浜田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県		市町村名	浜田市		地区名	浜田駅周辺地区			面積	47.4ha	
交付期間	平成18年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	2,216百万円	国費率	40%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(駅北線、浜田停車場港町線、浜田183号線、浜田184号線)、公園(駅北公園)、地域生活基盤施設(駅北駐輪場、駅南交通広場、駅北交通広場)、高質空間形成施設(緑化施設等)、高次都市施設(自由通路)									
		提案事業	地域創造支援事業(駅舎整備、排水路)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(浜田180号線)	削除/追加の理由			関連事業による整備					影響なし
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析)	事後評価のため								影響なし
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし						
	変更	平成18年度～平成21年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	医療センター移転地から駅までの移動時間	分	14	H17	3	H21	2	○	あり なし	自由通路は、すべての人が使いやすい施設となり、更に公共交通の利用促進にも寄与した。	
	指標2	駅南北の一体化度	人/日	702	H17	1,500	H21	2,106	○	あり なし	浜田駅南北の一体化が図られ、商店街、中心市街地の活性化にも寄与している。	
	指標3	交通事故件数	件	14	H16	10	H21	11	△	あり なし	道路、自由通路のバリアフリー化により、安全対策が図られた。	平成23年5月
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	市民ボランティア団体から、公園内にアダプトによる「ふれあい庭園」の贈呈を受け、当該地区の大目標である魅力と賑わいの創出に大きく貢献していただいた。この庭園の管理も市民参加型アダプトで管理されることになっている。自由通路を浜田医療センター2階へ繋げたこと、エレベーター・エスカレーターの設置等により、住民、通行人の「便利になった。素敵になった。」との声をよく耳にする。											
5) 実施過程の評価	実施状況											
	今後の対応方針等											
	モニタリング	実施内容					実施状況					
	新市の重点プロジェクト事業であり、所管課を設置し、事業推進を図る。また、交付期間中は行政評価システムを活用し、事業成果や事業の進め方等についての外部評価を行う。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も組織体制を充実すると共に、行政評価システムを有効活用して事業の検証を行い、効果的な事業推進を図る。
住民参加プロセス	浜田市中心市街地活性化推進検討委員会にて、事業計画、進捗状況、課題等を報告し、意見を求めた。また、浜田駅南北自由通路及び駅舎整備検討会を設置し、計画策定にあたっての意見を求めた。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も引き続き、住民と一緒に中心市街地の活性化について、検討を進めていく。また、機会があれば、今回の検討会の経験を基に住民参加の機会を設ける。
持続的なまちづくり体制の構築	市民ボランティア団体から、公園内にアダプトによる「ふれあい庭園」の贈呈を受け、当該地区の大目標である魅力と賑わいの創出に大きく貢献していただき、管理も市民参加型アダプトで行われている。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も市民参加型アダプトで管理される予定である。市職員の積極的な参加を促がし、持続するよう努める。

## 様式2-2 地区の概要

### 浜田駅周辺地区(島根県浜田市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<b>大目標</b> 浜田駅周辺地区における大規模低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せ、都市基盤整備を行うことにより、JR山陰本線で分断された駅南北市街地の一体性を高め、本地区の利便性向上及び賑わいと魅力を高める。 目標①駅北側の大規模低未利用地を活用し、浜田医療センターを核とした医療施設を集積することにより、地域医療の充実や住民の利便性の向上を図る。 目標②交通結節機能などの都市基盤整備による駅南北市街地の一体化と交通利便性の向上。 目標③高齢化社会等に対応したバリアフリーの推進及び、安全で快適な歩行空間等の整備による都市環境の充実。	医療センター移転地から駅までの移動時間 単位:分	14 H17	3 H21	2 H21
	駅南北の一体化度 単位:人/日	702 H17	1,500 H21	2,106 H21
	交通事故件数 単位:件	14 H16	10 H21	11 H21
	単位:			
	単位:			

**駅北線**

**浜田停車場港町線**

**浜田183号線**

**浜田184号線**

**駅前交通広場と駅北公園**

**自由通路 EV**

**自由通路**

**浜田駅舎と駅南交通広場**

**自由通路**

**自由通路 EV**

**浜田駅舎市民サロン**

**自由通路 ESCA**

**まちの課題の変化**

・浜田医療センターの移転新築、南北自由通路整備に伴う浜田駅舎の改築、自由通路と浜田医療センターの接続等により、魅力的な賑わいのあるシンボルエリアとなった。駅舎内市民サロンには観光案内や特産品販売の機能が充実し、市民だけでなく観光客にとっても魅力ある施設となったが、公共交通結節点である駅から点在する観光地等への二次交通網の整備が課題となった。  
 ・大規模低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せた、周辺の道路、公園等の公共整備により、市街地整備が図られた。また、自由通路の整備により、浜田駅南北を自由に行き来できるようになり、一体化が図られた。更に、自由通路整備に伴う浜田駅橋上化により、南北からの利用が可能となり、利便性の向上が図られたことにより、今後、駅南北の商店街の連携等、駅周辺市街地の更なる活性化策を検討する必要がある。  
 ・道路整備による歩道の設置や段差の解消、また、自由通路にエレベーター、エスカレーターを設置し、バリアフリー化を図ったことにより、安全性、利便性が向上したが、浜田医療センターへ車で来院する方が多く、交通量増への更なる安全対策が課題となった。

**今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)**

・エレベーター、エスカレーターの利用による事故及び自由通路内で犯罪が発生しないよう、管理、パトロールを徹底して実施する。  
 ・市民サロンで取り扱う特産品の更なる充実を目指すため、こだわりの特産品販売及び観光情報発信機能の充実を図る。  
 ・歩道の整備、段差の解消、自由通路のエレベーター設置等によるバリアフリー化を図ったことで、人身事故件数の削減は期待できるが、浜田医療センターへ車で訪れる来院者が少なくないことから公安委員会等と協議し、横断歩道の新設、速度制限の徹底、パトロールの強化、ボランティアによる歩行誘導等、交通量増に対する安全対策を図る。  
 ・浜田駅から点在する観光地等へのわかりやすい誘導、バスやタクシーの効率的な活用を図るため、観光サインの整備・周遊バスの新設・貸切タクシーの充実等の二次交通網の整備を図る。